

図書館だより



No.176

2010(平成22)年6月29日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Tel 024-535-3218 Fax 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>

国民読書年である今年の夏、県立図書館は様々な講座や展示、新サービスなどの企画が盛り沢山です。夏のひととき、図書館で本に囲まれる時間を過ごしませんか？



～展示～ 「青い目の人形」に見る資料展

平成22年7月2日(金)～10月6日(水)

昭和の初期に、アメリカから日本に贈られた青い目の人形たち。彼女たちは、日米の子どもたちの心を結ぶ“親善使節”でした。人形は各地の幼稚園や小学校に贈られ、お礼に日本からも人形が贈られました。今回の展示では、当時の新聞記事などを中心に、平和を願う両国の人々の気持ちが生み出した、友情の記録を紹介します。

☆関連講座☆

9月11日に「日米人形交流史 昭和2年の青い目の人形と答礼人形講座」を実施予定です。



～講座のお知らせ～

7～9月の講座についてご案内します。詳細は当館HPやチラシをご覧ください。

「衛生学・予防医学講演会」	7月 3日(土) 15:00～16:30
「蔵書検索端末機の使い方講座」	7月15日(木) 14:00～14:40
→こちらの講座は来年1月まで毎月実施します。(各月第3木曜日)	
「はじめてのインターネット使い方講座」	8月26日(木) 14:00～15:00
「図書館での企業情報の探し方講座」	8月28日(土) 13:30～15:00
ロビー展示関連講座「刻字をやってみませんか？」	9月12日(日) 13:00～16:30
「参考図書の使い方講座」	9月25日(土) 14:00～15:00(予定)

本の宅配サービス（一部地域のみ）と 郵送による利用登録受付開始について

6月1日より、一部地域(会津・相双)を対象に県立図書館の本を宅配でご自宅へお届けするサービス(有料)と、郵送による利用登録申込受付(全県から申込可)を開始しました。申込方法などの詳細は当館HP、チラシ等をご覧ください。

●ロビー展示のご案内●

色々な字体と作品展 (第2回)

7月2日(金)～8月4日(水)

水彩画と絵手紙展

8月6日(金)～9月1日(水)

網代澄亭と一門による刻字展 (第2回)

9月3日(金)～10月6日(水)

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お勧めの新着資料をご紹介します。

人文・自然

『基礎から学ぶ！スポーツ救急医学』

奥水健治／著 ベースボール・マガジン社
2009.12 780.19/ｺｯ09Z

夏を前に、様々なスポーツを楽しもうという方も多いことと思いますが、夏はスポーツ中のケガや事故が増える時期でもあります。熱中症や虫さされ、溺れた際など、様々な場面での適切な対応について、わかりやすいイラスト付きで解説しています。スポーツ以外の日常でも応用できる基礎的なケガの処置や救命手当の方法、AEDの使い方なども役に立つことでしょう。

『サツマイモ事典 起源◎伝播◎作物特性◎品種◎栽培◎利用◎文化』 いも類振興会/編集
いも類振興会 2010.1 R616.8/ｲ101

サツマイモが日本に伝来してから400年余り、自然災害に強く、栄養価が高い優れた特徴のおかげで、各地に広く普及しました。このイモについて、植物学的な特性、具体的な栽培技術はもちろん、青木昆陽を始めとする歴史や文化まで体系的にまとめた資料です。大学いもやスイートポテトなど、サツマイモを使った国内外の料理のレシピや、江戸から現在までの焼きいもの移り変わりも掲載されています。館内をご覧ください。

社会

『友だち不信社会 -「となりのウワサ」が怖い-』

山脇 由貴子/著 株式会社PHP研究所
2010.4 361.45/ｷ104

学校と職場における“ネットいじめ”の事例から「なぜ人はウワサを流すのか」について、子ども・大人のそれぞれの心理や「心の病にならないためのウワサ対策」について分かりやすく説明されています。インターネットや携帯電話が普及し、様々な情報を容易に得られるようになった今、これからのコミュニケーションや人間関係の在り方について考えさせられる1冊です。

『ゼロ円で愉しむ極上の京都 (文春新書)』

入江 敦彦/著 文藝春秋 2010.4
291.62/ｲ7104

京都人である著者が紹介する京都の旅案内です。七福神巡りから始まり、200種以上の桜がある一般公開されている個人邸の庭や、漬物屋さんでいただく粋な手拭い、ミュージアムの美しい資料カタログ、舞妓変身撮影会見学などを紹介。他のガイドブックでは味わえない京都ならではの愉しみ方が堪能できる本です。

雑誌・新聞

現在行っている文芸雑誌のミニ展示にちなみ、当館所蔵の最新号のいくつかをご紹介します。

『文學界』2010.7 発行 文藝春秋 Z910.5/B2

「1Q84 BOOK3」徹底分析

『新潮』2010.7 発行 新潮社 Z905/S1

101年目の遠野物語

『群像』2010.7 発行 講談社 Z905/G1

ドフトエフスキー

村上春樹、世界文学への軌跡

『SFマガジン』2010.7 発行 早川書房 Z910.5/S15

メタルギア ソリッド特集

柴野拓美追悼

『オール讀物』2010.6 発行 文藝春秋 Z910.5/04

池波正太郎没後二十年 鬼平犯科帳

『小説トリッパー』2010.3 発行 朝日新聞社

Z905/S4 ニッポン女子のゆくえ

香山リカインタビュー

『ミステリマガジン』2010.7 発行 早川書房

Z905/M2 マイクル・コナリー・パーク特集

地域

『立岩一郎伝』 立岩 寧/著 青史出版

2009.10 L289/T50/2

明治初頭、福島県安積郡の開拓事業に尽力した立岩一郎氏をご存知でしょうか。

本書は、米沢藩士から福島県の県官となり、中野新道(後の万世大路の福島県側)開削や、安積郡開拓出張所長として各開拓事業に携わった立岩氏の生涯をまとめた一冊です。立岩氏と深く関わりのあった中條政恒氏についても、要所々々で触れられています。

安積郡一帯の開拓がどのように行われたのかを知る手がかりともなる一冊です。

巻末に立岩家系譜、立岩一郎略歴があります。

『じいちゃん ありがとう ～一枚の写真から～

奥会津こども聞き書き百選②』

奥会津書房/編集只見川電源流域振興協議会

2010.3 L281.04/04/2

「奥会津 こども聞き書き事業」応募作品集の第2冊目です。奥会津の小学校高学年から高校生までの子どもたちが、祖父母や近所の方々の、埋もれかかっていた貴重な記憶をすくい上げました。

一枚の写真を仲立ちとして浮かび上がる個人の記憶は、その時代の克明な生活記録ともなっています。

会津で紡がれた色彩豊かな「小さな記憶の織物」をぜひご覧ください。